

## 9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (四国)	良く なっている やや良く なっている	—	—	—
		商店街（代表者）	お客様の様子	・来街客動向を見ると僅かながら、平日の来客が多くなっている。一方、週末の来街客は少し減っているように感じられる。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・気温が下がってきており、これから秋冬物の動きは活発になる。ただ、少しぜいたくしたいという気持ちと物価高に対する生活防衛意識の間の消費者を、上手く消費喚起できるかがカギとなる。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・来客数は前年とほとんど変わらない。一方、商品価格の値上げにより単価が若干上昇しているため、売上は前年比で伸びている。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・前年比で来客数は微減、1人当たりの購入額は微増し、売上高は微増となっている。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・店内調理の揚げ物などプラス1品を購入する客が多く、客単価が上昇している。ここ3か月は前月比プラスとなっている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・例年であれば閑散期であるが、今年はボーナス商戦期よりも販売量が伸びている。
		その他小売 [ショッピングセンター]（副支配人）	お客様の様子	・気温の低下とともに、秋物が動き出した。動きは、例年よりやや良いと感じる。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・他社と対抗する上で有力な新商品の発売を開始した。
		通信会社（企画）	お客様の様子	・引き続き、集合物件等からの引き合いが堅調である。
		設計事務所（所長）	販売量の動き	・民間からの仕事が増えてきた。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・消費税増税がほぼ決定した様子があり、9月の契約数は増えた。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・2回の3連休とも、かなりの人出で、商店街全体がにぎわった。しかし、残暑の影響から秋物の立ち上がりが遅れている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・アベノミクス効果が良い雰囲気を作っているが、消費税増税前の駆け込み需要に期待するよりも、増税後の消費動向に強い不安がある。
		一般小売店[生花]（経営者）	お客様の様子	・個人客は単価が低めで、敬老の日も平年並みの注文数であった。月後半は法人客の注文が多く、御祝用商品が好調だった。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・催事時期の前倒し移動で、来客数は大きくプラスとなったが、婦人服の販売量があまり変わらなかった。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・1人当たりの購入点数は3か月前と同じ水準で推移している。また、野菜が高騰しており、売上は一定レベルを維持している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・気温の低下により夏物商材の販売量が例年に比べて早期に落ち込んだ。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今月中旬頃まで残暑が厳しく、秋物が苦戦したが、下旬になって気温が下がり、レディースを中心に秋冬物が動き始めた。トータルでは微減という感じである。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・整備や車検での来店が増えたことから来客数は微増したが、販売台数は前年と変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・前年と比べて多少上回っているものの、状況は良いとは言えない。週末の来客数が安定しない。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・9月に入り、受注が前年を上回っており、販売も底堅い。景気に明るさが見えてきており、今後も期待している。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・客の消費が少しずつ良くなってきているが続いている。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客者は確実に減っており、景気が良くなっている実感はない。ただレストランで高い商品が出始めており、単価の上昇で来客の減少を補っている状況が続いている。

	旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・有名テーマパークの周年イベントやオリンピック招致決定効果で、首都圏を中心に国内旅行が増えている。しかし、円安の影響で海外旅行は減ってきている。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・引き続き、夜の利用客の動きが悪く、売上が伸びない。お遍路さんの貸切の仕事も少なく、景気は良くない。	
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新商品発売前の時期なので、販売数は伸びていない。	
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・台風によるキャンセルが大きく響いている。予約状況は平日が特に弱く、土日も昨年に比べて悪い。	
	競艇場（職員）	販売量の動き	・前月は大きなレースが開催され大変盛況であったが、今月は大きなレースもなく、売上は前月比24%減で、3か月前とほぼ同じだった。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・これまで複数のメニューをオーダーしていた客がメニューを1つ減らすなど節約傾向が見られる。	
やや悪くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・台風の影響で、店頭売上が大きく落ち込んだ。	
	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・飲食店への卸、店売りとも販売量の減少に歯止めがかからない。	
	コンビニ（総務）	来客数の動き	・夏場の猛暑期から一転し、気温低下とともに来客数が減少している。	
	衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・前年に比べ来客数が大きく落ち込んでいる。週末の天候不順の影響もあると思われるが、顧客との会話からも購買意欲の低迷が感じられる。	
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車販売は前年比83%程度で推移している。消費税増税が予定されているが、今のところ影響は感じられない。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・今年は、例年と比べてとても悪かった。	
	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	来客数の動き	・来客数が減少傾向にある。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前に比べるとやや悪くなっている。人は週末、街に出るが、タクシーの利用頻度は少なくなっている。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・この時期は毎年来客数が少ない。	
悪くなっている	コンビニ（店長）	来客数の動き	・台風の影響など天候の悪い日が多く、イベントが中止となったことで来客数が減少した。	
企業動向関連 (四国)	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・小売店の店頭での受注が引き続き旺盛で、全国的に発注が多くなっている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内は、首都圏・関西を中心に全国的に稼働が良好である。海外は北米に失速感があつたが受注が少し上向き、欧州は底這い、中東・アジアは堅調に推移している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・太陽光発電設備の受注・問い合わせが引き続き多く、設備補修の見積もたくさん出ている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・消費税増税前の駆け込み需要によりマンション・一戸建ての販売が好調である。地震・津波対策の公共工事も増加している。
変わらない	食料品製造業（経営者）	取引先の様子	・小売店の売上が伸びない。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・掃除用品やマスクは繁忙期を迎えるので期待しているが、不採算のトイレットペーパー部門から撤退する方向を打ち出していくので、売上は伸びない。	
	建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が増えないので、変わらない。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・予定していた工事が受注できない状態が続いている。	
	輸送業（経営者）	取引先の様子	・基本的に何も変わっていない。	
	通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・ここ数か月の受注量はほぼ変わらず、トレンドに大きな変化が見られない。	
	公認会計士	取引先の様子	・今月の関与先の決算内容を見ると、3か月前と売上や利益はそれほど変わっていない。	

	やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・取引先からの受注量が下降気味である。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・出版業界も厳しさを増しており、コストダウンの依頼が以前にも増して厳しくなっている。
	悪くなっている	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・船舶関連鋳鋼品の受注が激減している。
雇用関連	良くなっている	○	○	○
(四国)	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・事務職の正社員採用が増加傾向にある。
		求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・県内企業の求人が増えている。平成27年春の新卒者採用予定人数も例年並みか、増やす傾向にあり、各社とも景気は上向いてきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・一般の広告は増えていないが求人広告の数が増えている。少し上向きになりつつあるといったところである。
		職業安定所（職員）	それ以外	・8月の月間有効求人倍率は0.91倍で、3か月前と比較して0.06ポイント上昇している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・8月の管内の新規求人数をみると、建設業のうち木造建築や不動産などが前年に比べ増加しており、消費税増税前の駆け込み需要の影響が増していると考えている。
変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・オリンピック招致も決まり雰囲気は良いが、その影響が地方にまで反映する気配はない。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人倍率は過去最高を記録しているが、求人内容では非正規雇用が過半数を占めるなど求職者とのミスマッチが進んでおり、求人充足率は低調である。	
	民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・これから設備投資等を行って増産体制に移行しようとする製造業は少なく、特に香川県では食品製造業の割合が多いため、急激な売上の増収は見込めず、様子見の感が強い。	
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業）	採用者数の動き	・上期決算期であり、人件費など経費削減に注力する企業が目立つ。人員不足は感じているが必要人数を確保する余裕はない様子で、まだ景気が好転しているとは思えない。
	悪くなっている	—	—	—